

今日は、昨年 9 月の例会時、短時間でしたがお話しして下さった宮本祐子(Yuko Miyamoto)さんを、改めてお迎えしました。宮本さんは、2 年前までミネアポリスに在住、約 20 年間ミネアポリス観光局に勤めておられました。その間ずっと、茨木市との姉妹都市交流に関わってこられたため、私達の中にも顔馴染みの方が多くいます。ミネアポリスと隣のセントポールの街の写真を 90 枚ほど見せてもらい、日本語、英語を混ぜながら、ミネアポリスやアメリカの魅力、英語の上達法、アメリカでの仕事の失敗談から成功の秘訣等々、ジョークを交えながら楽しく語っていただきました。



“Come to Minneapolis and find real America”



全米最大のショッピングモール MOA

ミネアポリスは全米 16 大都市の 1 つであり、ダウンタウンの人口は全米でも特に多い。6 月から 8 月が観光のベストシーズン。ノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランの故郷であり、彼の壁画もある。6 月には Jazz Festival、9 月には State Fair (農業祭) があり、アメリカ最大のショッピングモール、Mall of America (MOA) は今年 25 周年を迎える。現在、ニコレットモールという Pedestrian Mall (市バスとタクシー以外

の車は入れない) の大幅な改装が行われており、2018 年春に完成予定。NY のハイタワーの構想をした人がデザインしているので、すごいものができるかと期待している。都市型の彫刻庭園としては全米最大級と言われている Minneapolis Sculpture Garden も現在改装中で、今年秋に完成予定。来年、フットボールのスーパーボウルが US バンク・スタジアムで開催される予定だが、それに向けて様々な工事が進んでいる。また、人口も増えてきて、アパート、マンションも多く建設中で、今は市内のあちこちでクレーンばかりが目立つ。

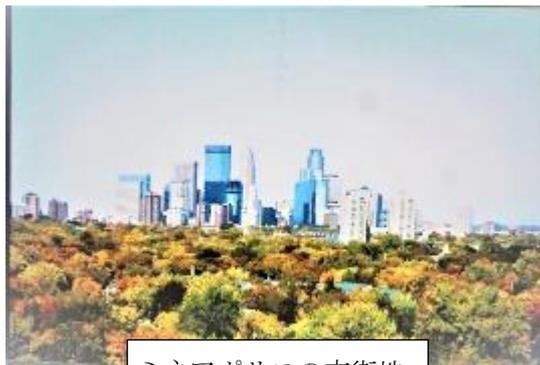


彫刻庭園で人気の、巨大なスプーンにのった赤いチェリー

Q: ミネアポリスに 20 数年在住後、帰国することになった時の気持ちは?

A: 複雑な気持ち。1992 年秋に渡米した時は、ちょうどインディアンサマー (小春日和) の時で暖かく、紅葉も美しく、悪くないな、というのが第一印象だった。その 1 ヶ月後に

は-15℃になったのだが。色々あったが、ミネアポリスのお陰で現在の私があると言える。私は小さい頃は変わった子供で、両親も何か障害があるのではと思ったほど。だが、単に変わっていただけで、他の人と同じでは嫌だと思っていただけ。渡米すると、人々は私の出身地や性別などの背景で理解するのではなく、私の言うこと、やることで判断してくれ、それが心地良かった。そして、男女を問わず、様々な年齢や職業の人と友達になった。私は日本で生まれ、30年間暮らしたので、私のルーツは日本にある。しょうゆや味噌、日本酒なしには生きられない。だが、すぐにでも飛行機に乗ってミネアポリスに帰りたと思う時がある。



ミネアポリスの市街地

Q: 時には冗談も交えて英語を流暢に話されるが、どのように習得されたのか？

A: 私は大学では文学部、専攻は万葉集で、渡米した当時の私の英語はひどかった。最初の頃は、毎晩8時以降は寝込むほど、私の頭は英語を受け付けなかった。だが3ヶ月後には何のことを話しているかぐらいは分かるようになった。そうなれば、大事なことは話すこと！聞いているだけではだめ!!へたな英語でも聞いてくれる人は必ずいる。話すことによってコミュニケーションが生まれ、コミュニケーションできるようになれば、英語は確実に上達する。

ジョークは大切。日本のジョークは通じないこともあるし、アメリカのジョークは分からないこともある。だが、笑いを誘うことはコミュニケーションを生み、友達ができるきっかけとなる。

Q: 仕事上、失敗もあると思うが？

A: 成功より失敗の方が多い！1993年、ミネアポリスでのJapan Weekの準備のため、観光局で雇われた時は、私の英語は仕事で使えるようなレベルではなく、回りの人を混乱させたことも数多くあった。だが、私の上司（現在、観光局のSenior Vice President）は、私の思うようにやらせてくれた。私の大阪人としてのパーソナリティがネットワーク作りに役立ったのでは、と思う。



スヌーピーの作者はセントポール出身

r と l の違いなど、日本人にとって発音やスペルもややこしい時がある。以前、ペルシャじゅうたんを買ってほしくて、”I have an old Persian rag...”と同僚に書いたら、”Can I just put it on a table?”とか”How dirty is it?”等の問い合わせが来た。後で、rag は “ぼろ切れ” の意味なのだと分かった。これは随分前の話だが、今でも酒の席で話題に上ることがある。また、飛行機に乗る上司に、”Have a nice fright!”と書いたことも。”Are you saying that my airplane will crash or something?”と言われた。fright は “恐怖”

という意味なのだ・・・!!

公の場で通訳をしている時、原稿通りにスピーチしてくれなくて、スピーチ内容を”create”したこともある。私の英語は、ずっと私の弱点だった。だが多くの失敗をしてきたにもかかわらず、私がクビにならなかったのは、私の上司が良い人だったというだけでなく、私は日本と上手くコミュニケーションをとり、アメリカの同僚を助け、交渉先ともフレンドリーになることができたからだと思う。年賀状や暑中見舞い等、日本的なやり方も駆使してきた。アメリカで仕事に成功するには語学力だけではなく、何ができるか、どのようにできるかが重要だと思う。

私は上司や職場環境に恵まれていて、ラッキーだったとも思う。ただ、今まで仕事をこなしてきたが、成功したとは思っていないし、満足もしていない。満足してしまえば、そこで私の人生は止まってしまい、前進しないように思う。常に学び、模索し、挑戦していきたいと思っている。



ミネアポリスの冬は寒い。-25℃になることも。

アメリカにはテレビも新聞も見ないような貧困層がある。彼らは、恐らく今まで選挙に行ったことがない。そういった人達や、女性や移民の地位向上で、のけ者にされてきたと感じている白人の金持ちの男性がトランプ氏に投票した。彼らの関心事は自分達の生活のことだけで、human rights や social issue には興味がない。彼らには、トランプ大統領のメッセージは単純で分かりやすい。

ミネアポリス市長は、最近、トランプ大統領

の移民排除政策には追随しないという文書に署名した。ミネソタ州はリベラルな州で、広いアメリカだからこういった自由な政策が可能だと言える。また先日も、トランプ政権への抵抗運動があった時、ミネアポリスの多くの店舗、レストランが賛同し、移民の従業員のために、と言って休業した。ミネアポリスは人のことを考えることができる、素晴らしい街である。

市内中心部の建物は全て 2 階部分の連絡通路でつながっている。冬でも快適！



Q: 前回の IIN 例会はアメリカの政治の話で、政治用語が沢山出てきて、HP の原稿作成に苦労している。

A: 昔は、専門用語を調べる時は大学の図書館に行ったり、法律用語、政治用語等の専門用語の辞書を買ったりしていた。だが今はネットで簡単に検索できる。Google で調べるのは便利。英語のドラマを続けて見るのも、英語の勉強になる。

Q: 渡米し、英語を使って人の助けになるようなことをしたいと思っているが、中高年にな

